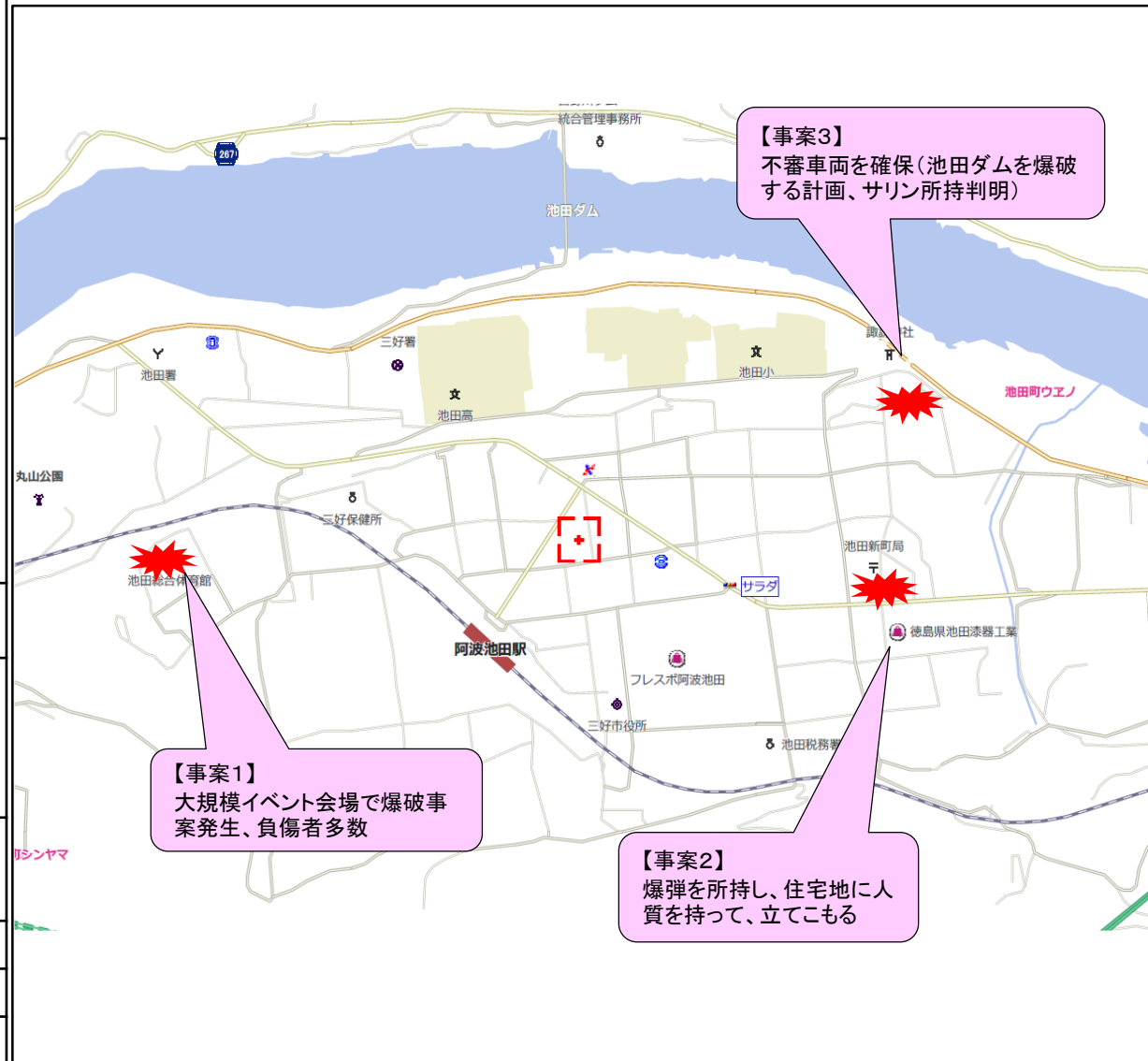


令和4年度徳島県国民保護共同図上訓練概要

日時	令和5年1月23日(月) 13:00~15:30(予定) (振り返り除く)	
場所	徳島県庁万代庁舎、三好市役所 (コントローラーは県庁に集約して設置)	
目的	(1)緊急対処事態発生時の初動措置の確認及び能力向上 (2)緊急対処事態対策本部の機能、業務の確認及び対応能力の向上 (3)関係機関の機能確認と相互の連携強化 (4)徳島県及び三好市国民保護計画の検証	
主要訓練項目	(1)事態認定前の初動対処訓練 ①被災情報の収集・伝達 ②県市における対策本部の設置 ③各種応援要請(緊急消防援助隊及び陸上自衛隊災害派遣要請等) ④消防警戒区域等における避難措置 (2)緊急対処事態対策本部の設置運営訓練 ①緊急対処事態対策本部の設置 ②法定通知等の伝達 ③住民避難に関する連絡調整 ④負傷者の搬送に関する連絡調整 ⑤要援護者避難に係る救援調整 ⑥応援協定に基づく救援(物資の受援)調整 ⑦緊急対処事態対策本部員会議の開催 ⑧消防防災ヘリによる情報伝達訓練	
参加機関	政府機関	内閣官房、消防庁、陸上自衛隊、海上自衛隊、自衛隊徳島地方協力本部、徳島海上保安部
	地方公共団体	徳島県、三好市、徳島県警察本部、三好警察署、みよし広域連合消防本部、県内全市町村・消防本部(情報伝達訓練に参加)、香川県、愛媛県、高知県、鳥取県、四国中央市消防本部、嶺北広域行政事務組合消防本部、三観広域行政組合
	指定(地方)公共機関等	徳島DMAT(県立三好病院、東徳島医療センター、ホウエツ病院)、全指定地方公共機関(情報伝達訓練に参加)
知事等の参加	知事・市長 参加可(会議及び講評)	
訓練方式	状況付与型のロールプレイング方式	
訓練の公開	公開	

想定の特徴	大規模イベント会場にて、爆破事案発生。犯行グループが爆弾を所持し、人質を持って、周辺住宅地に立てこもる。立てこもり現場付近で、不審車両を発見し、池田ダムを爆破する計画とサリンを所持していることが判明。
備考(過去の実績・国への要望等)	共同実動訓練:H21, H29, H30, R4 共同図上訓練:H20, H22, H23, H24, H25, H26, H27, H28, H29 共同実動・図上訓練:R1



訓練シナリオ概要

第1事案発生までの状況

- 11月上旬、大統領がテロ撲滅を公約に掲げる、日本の友好国であるA国内において、一般市民を巻き込んだ爆破テロが発生。
- 時期を同じくして、国際テログループ「X」は、自らの思想の流布を目的として、A国の友好国を中心に、近日中にテロ攻撃を実施する旨の犯行予告をウェブサイト上で公開。
- 12月中旬、テロ根絶を訴える、A国のジャーナリストが、本県の三好市で開催される大規模イベントに参加する予定をSNSにアップした。
- 1月11日(水)、A国の友好国において開催されていたイベント会場およびその周辺で爆破テロが発生。
- 1月21日(土)(予定日の2日前)、消防庁が各都道府県に対して、国際テログループ「X」に関する注意喚起情報を提供。これを受け、県は危機管理会議を招集・開催した。

時間経過	事態の進展	国	徳島県	三好市
1月23日(月) 訓練開始前	日本でテロの危険性が高まったことによる警戒態勢の強化			
12:55	【第1事案】 イベント開催中の池田総合体育館で爆破事案発生			
13:00	<訓練開始> 【第2事案】 周辺住宅地で立てこもり事案発生 【第3事案】 不審車両発見 池田ダムの爆破計画、サリン所持が判明	○官邸対策室、消防庁緊急事態調整本部設置	○徳島県危機管理対策本部設置	○三好市危機管理対策本部設置 ○広域消防応援隊(県内)要請
13:20			○DMAT派遣要請 ○自衛隊災害派遣要請 ○緊急消防援助隊要請	○DMAT派遣要請 ○自衛隊災害派遣要請 ○緊急消防援助隊要請
13:35			○避難経路等地域見積り 救援内容の検討	○避難経路等地域見積り 救援内容の検討
14:30	事態認定	○国家安全保障会議 ○臨時閣議	○避難経路等地域見積り 救援内容の検討 ○隣接県からの物資等の支援・受援調整	○避難実施要領の検討・作成
14:35	Em-Net送信	○緊急対処事態対策本部設置 ○対処方針、政府対策本部設置、対策本部設置すべき地方公共団体の指定、警報の発令、国民保護等の派遣の求め等 ○避難措置の指示、救援の指示	○緊急対処事態対策本部設置 ○警報の伝達等 ○避難指示、市への救援事務の委託等	○緊急対処事態対策本部設置 ○警報の伝達等 ○避難住民の誘導、救援の実施等
15:00			○緊急対処事態対策本部会議	○緊急対処事態対策本部会議
15:30	<振り返り>		○本部会議後振り返り	○本部会議後振り返り

令和4年度徳島県国民保護共同図上訓練 一般状況

訓練開始時の状況は、ここに示すとおりである。

1 事態発生の想定日

令和5年1月23日（月）

2 事態発生日までの状況

・事態発生約2ヶ月前

大統領がテロ撲滅を公約に掲げる、日本の友好国であるA国内において、一般市民を巻き込んだ爆破テロが発生。時期を同じくして、国際テログループ「X」は、自らの思想の流布を目的として、A国の友好国を中心に、近日中にテロ攻撃を実施する旨の犯行予告をウェブサイト上で公開。

・事態発生約1ヶ月前

テロ根絶を訴える、A国のジャーナリストが、本県の三好市で開催される大規模イベントに参加する予定をSNSにアップした。

・1月11日（水）

A国の友好国において開催されていたイベント会場およびその周辺で爆破テロが発生。

・1月23日（月）

池田総合体育館で参加者約800名程度の大規模イベントを行っていた。

3 政府、省庁、県庁等の対応

(1) 政府、中央省庁の対応

- ・11日のA国の友好国での爆破テロ事件の発生を受け、国は同日、官邸連絡室を設置。同日、消防庁は情報連絡室を設置。
- ・上記事案の発生を受け、政府は関係省庁連絡会議を開催。テロ対策強化を確認するとともに、各地方公共団体及び消防機関に対して、テロ対策強化の徹底を指示。
- ・1月21日（土）（予定日の2日前）、消防庁が各都道府県に対して、国際テログループ「X」に関する注意喚起情報を提供。

(2) 現地関係機関の対応

ア 徳島県

1月21日、消防庁からの注意喚起の連絡を受け、徳島県は、「徳島県危機管理会議」を招集・開催。万が一のテロ事案発生時の初動対応について周知徹底を行う。

〈周知事項〉

- ・県内でテロ事案が発生した場合には、直ちに「危機管理対策本部」を設置。
- ・初動対応等について確認し、事態発生時には迅速に対処できるよう危機管理体制を確保すること。

イ 三好市

- ・ 21日、県から危機管理会議設置連絡受領、注意体制を構築
- ・ 同日、徳島県より厳戒態勢構築の要請受領、警戒態勢を構築

ウ 徳島県警察

- ・ 警察庁から警戒強化の指示受け、大規模イベント等の警戒活動強化
- ・ 公共交通機関等の管理者に対して、自主警戒警備の強化等を要請
- ・ 21日、県本部緊急事態警備連絡室設置、三好警察署緊急事態警備連絡室設置、機動隊に対して有事の際の出動準備を指示
- ・ 23日、大規模イベントへの厳戒態勢構築、NBCテロ対策班を三好警察署に派遣し、即応体制をとる

エ みよし広域連合消防本部・県内消防本部

- ・ 池田総合体育館において、大規模なイベントが開催されることから、21日より徳島市消防局からNBC対策部隊の派遣を受け、即応体制をとる

オ 自衛隊

- ・ 統合幕僚監部から各基地及び駐屯地の警備強化を指示

4 訓練当日の状況

事案発生前

徳島県を含め、国内でいつテロが発生してもおかしくないという客観的情勢がつくられている。

気象条件

天候 晴れ、気温 10℃、風向（風速） 西北西（2.0m）、その他 積雪なし

12：55 爆破事案発生

- （1） 県，市，関係機関は，三好市の池田総合体育館で死者多数との連絡を受けた時点で、「国際テロ組織による事案でないか？」という認識をもつ。
- （2） 徳島県，三好市では，対策本部を直ちに設置するため，要員の緊急招集がかけられる。

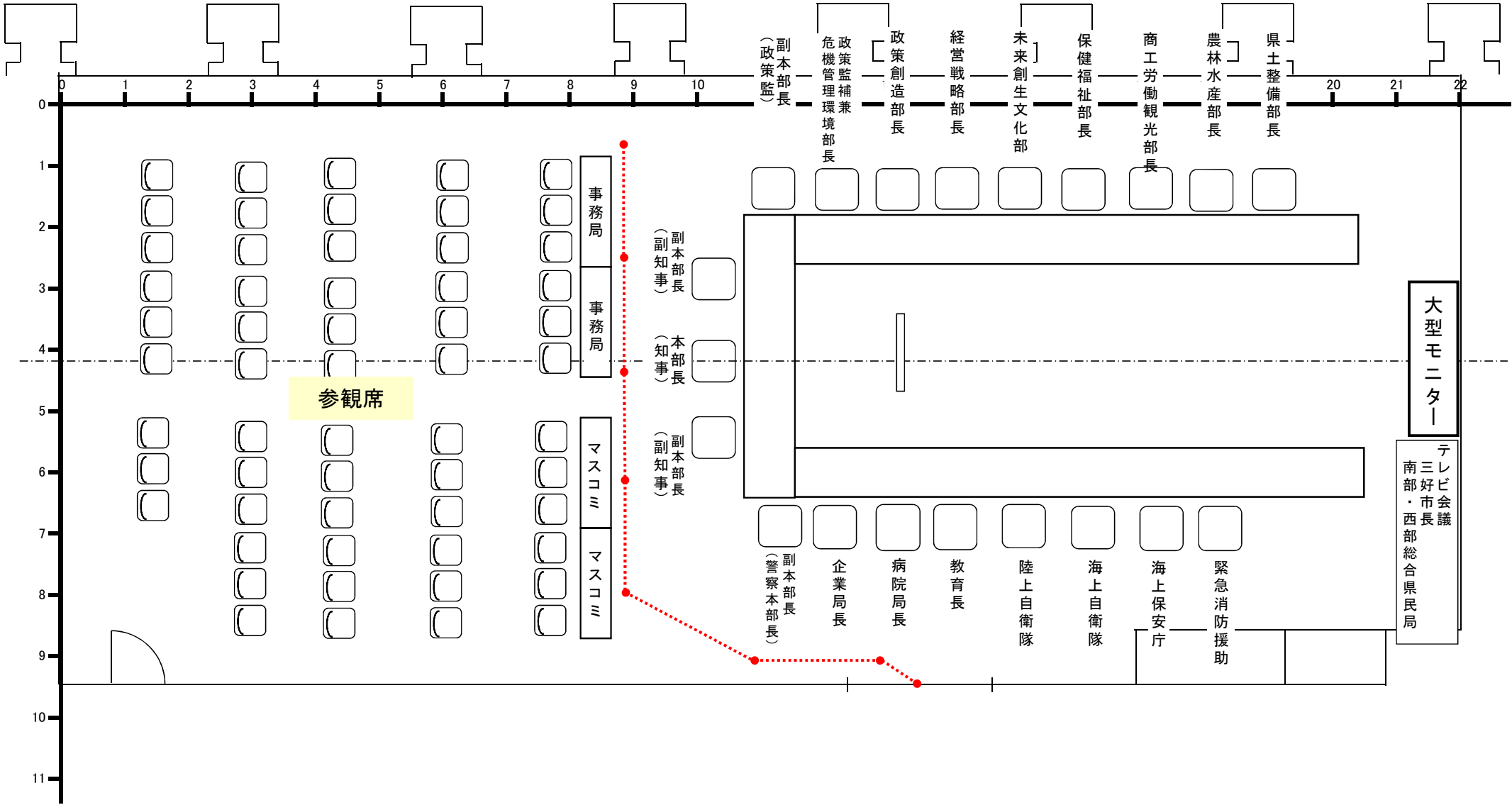
13：00 本部設置

対策本部の設置を各機関に通知し，初動対応に掛かるところから訓練は開始する。

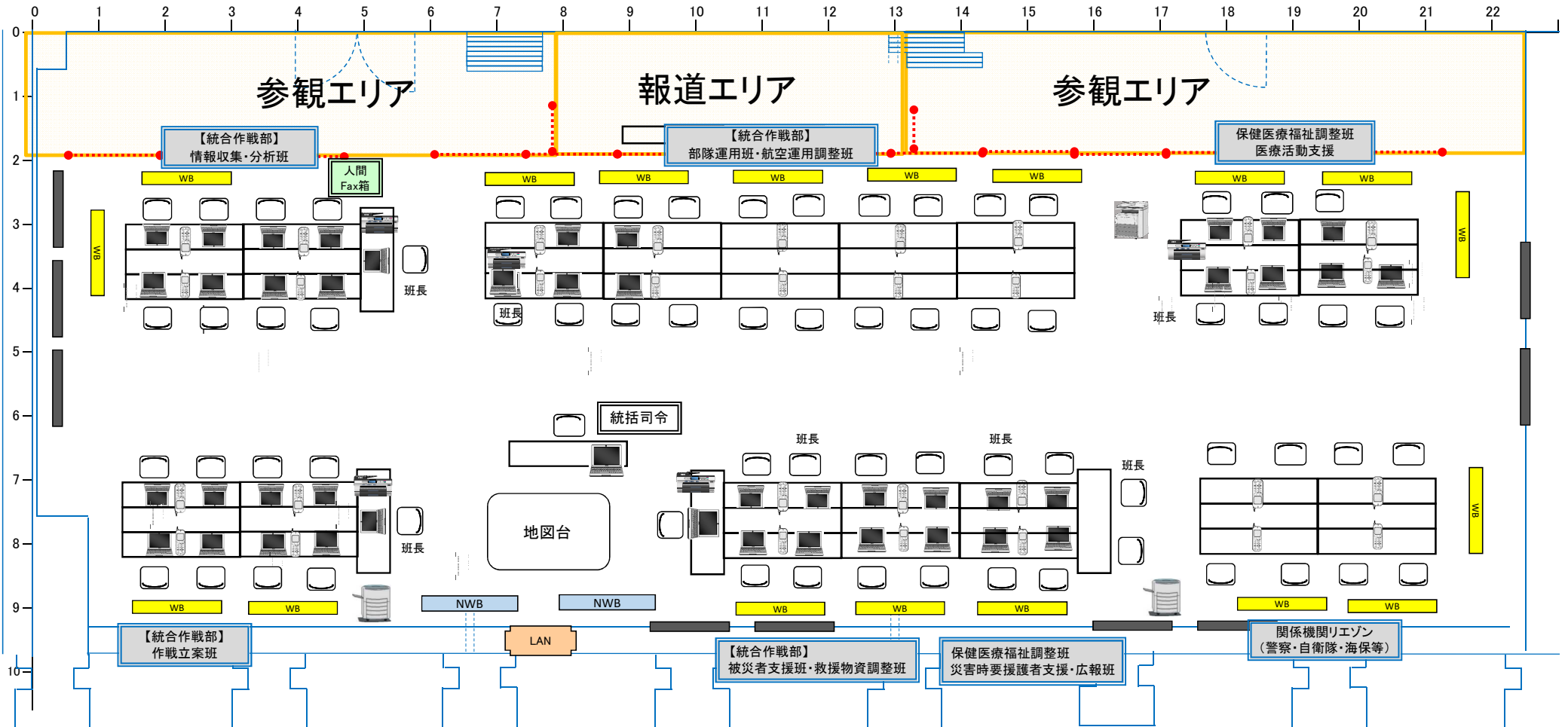
令和4年度徳島県国民保護共同図上訓練 主なシナリオ

時間	事態の進展	3階 県防災・危機管理センター(本部会議)	4階 県防災・危機管理センター(統括司令室)	7階 707会議室(現地調整所)
		主な対応(ブラインド訓練のため必ずしも下記の対応をとるとは限らない)		
12:55	・池田総合体育館で爆破事案発生			
13:00	<訓練開始> ・事案の覚知と立ち入り禁止区域の設定		・危機管理対策本部の設置 ・自衛隊の災害派遣要請 ・消防防災ヘリの離陸	
13:10	・第1事案の負傷者の情報		・緊急消防援助隊の派遣要請 (消防応援活動調整本部の設置) ・航空運用調整本部の設置 ・DMAT派遣要請、医療機関の受け入れ要請	
13:18	・第1事案の現地調整所の開設		・LOの派遣	・第1事案の現地調整所の開設
13:20	・立てこもり事案発生		・事案の発生を、消防庁と共有	・負傷者の情報から搬送トリアージを実施 ・搬送車両の選定
13:25	・立ち入り禁止区域内の住民の避難を市が決定		・市、関係機関と住民避難の検討	・市、県と住民避難の検討
13:35	・計画の全容が判明(立てこもり犯サリン所持、池田ダムの爆破計画等) ・第2事案の現地調整所開設		・計画内容を消防庁へ報告 ・自衛隊へサリンの影響範囲の確認 ・生活安全施設の安全確認	・第2事案の現地調整所の開設
13:45	・サリン散布時の影響範囲の分析結果判明		・サリンの影響範囲の展開	
13:55	・住民避難の地域拡大を市が決定		・市、関係機関と住民避難の再度検討	・市、県と住民避難の再度検討
14:00	・ドローンによる映像付与 ・市内で火災の発生情報		・防災ヘリへ転進指示	
14:30	・事態認定		・徳島県緊急対処事態対策本部の設置	
14:35	・Em-Netの受信【事態認定、警報の発令等】		・Em-Net情報の受領・展開	
14:40	・市から避難実施要領の提出		・市から避難実施要領の受領	・市から避難実施要領の受領
14:45	・Em-Netの受信【避難措置、救援の指示】		・Em-Net情報の受領・展開	
14:50	・知事レク		・知事レク対応	
15:00	・徳島県緊急対処事態対策本部会議	・本部会議開始		
15:30	・会議終了 <訓練終了>	・本部会議終了		

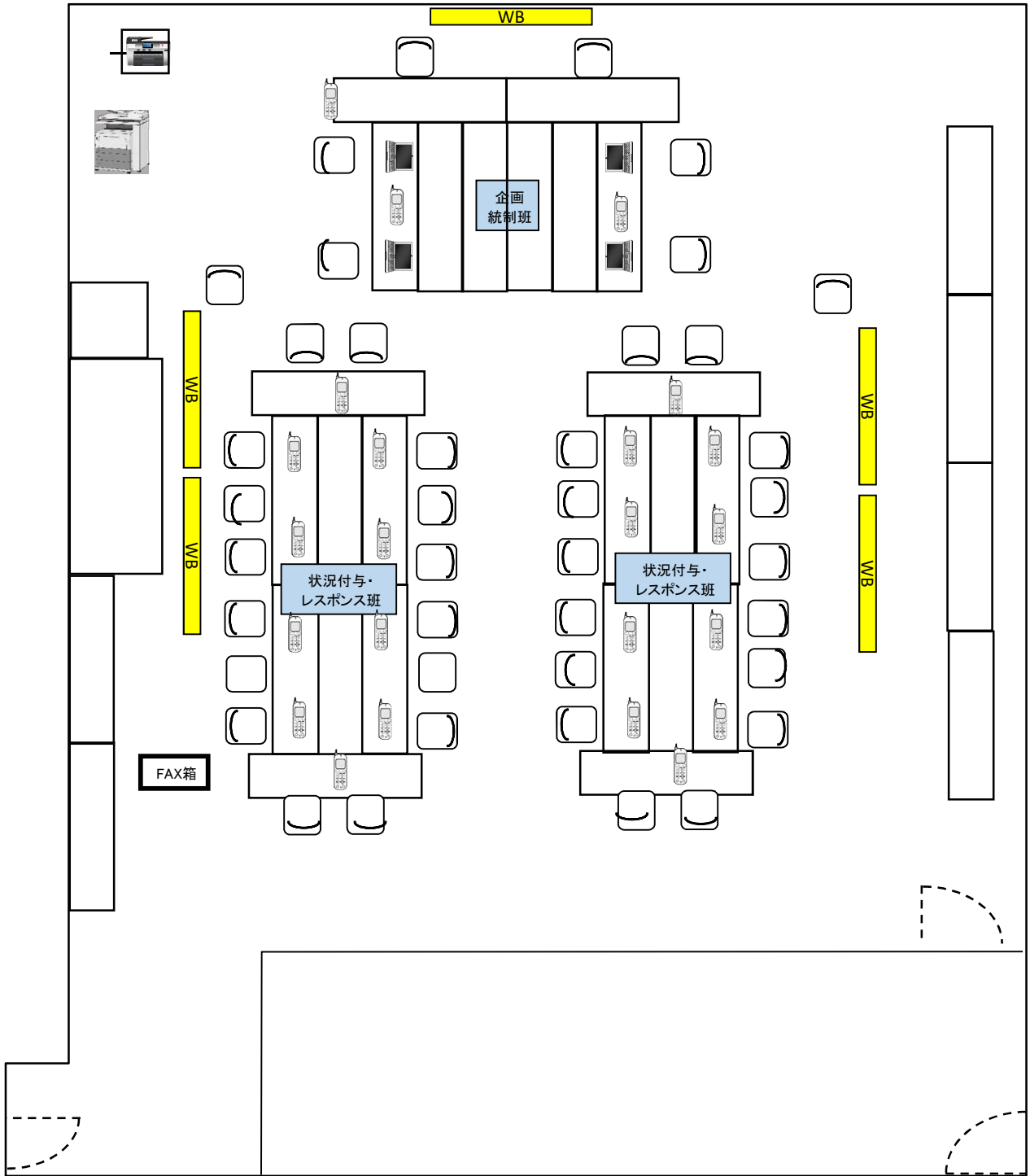
【徳島県緊急対処事態対策本部会議】
 徳島県庁3階 県防災・危機管理センター（特別会議室）










【徳島県緊急対処事態対策本部 統括司令室】
徳島県庁4階 県防災・危機管理センター(401・402・403会議室)



405会議室 コントローラ室



 : プリンタ	 : FAX&コピー機 (複合機)	 : 長机	 : ホワイトボード
 : パイプ椅子	 : PC	 : 携帯電話	

状況付与系統図(県・市対策本部・現地調整所の接続要領)

コントローラー

プレイヤー

全般
企画・統制

救急搬送

- ・消防庁
(兼緊急消防援助隊)
- ・徳島県航空隊
- ・徳島市消防局
(県内その他消防)
- ・みよし広域連合
- ・陸上自衛隊
(第14飛行隊)
- ・海上自衛隊
(第24航空隊、徳教群)
- ・徳島海上保安部
- ・各医療機関、DMAT、
県医療政策課

警備・避難・救援

- ・県警
- ・陸上自衛隊
(15即機連)
- ・地方協力本部
- ・他県
- ・徳島県バス協会
- ・徳島県トラック協会
- ・徳島地方気象台 他

状況付与/連絡・回答・問い合わせ対応

<状況付与例>

- ・事態の推移を定時で付与(例:周辺住宅地で立てこもり事案発生)
- ・航空機の到着状況を定時で付与(例:海保のヘリが〇時頃現着見込み)
- ・Em-Net情報を国と調整ができ次第付与(例:事態認定等)
- ・バスの提供可能リストを県の要請受け付与(例:バス協会からのリスト)

状況付与/連絡・回答・
問い合わせ対応

<状況付与例>

- ・事態の推移を定時で付与
(例:周辺住宅地で立てこもり事案発生)
- ・避難における支援要請
(例:在宅介護者の避難支援要請)

状況付与/連絡・回答・問い合わせ対応

<状況付与例>

- ・事態の推移を定時で付与(例:周辺住宅地で立てこもり事案発生)
- ・部隊の展開状況を定時で付与(例:〇〇消防の救急隊1が現着)
- ・負傷者の情報を定時で付与(例:死者1、重症2、中等症1救助)

県対策本部

- 県対策本部の設置
- 被害状況・対応状況のとりまとめ
関係機関への情報共有・連絡調整
- 事態認定に向けて、消防庁と調整
- 事態認定後の法定通知の伝達
- 住民避難の手段、経路、安全確保の調整
- 市の避難実施要領の作成支援
- 支援物資の調達・搬送調整
- 医療機関の搬送調整、航空機による搬送調整

市対策本部

- 市対策本部の設置
- イベント参加者向け避難所の開設調整
- 住民の避難先、集合場所の開設調整
- 住民避難地域の検討・決定
- 住民避難の手段、経路、安全確保の調整
- 避難実施要領の作成と共有
- 避難所の必要物資等の確認・調達

情報共有・
支援要請・対応調整

三者をオンラインで
常時接続

情報共有・
支援要請・対応調整

情報共有・
支援要請・対応調整

現地調整所

- 県・市・各機関LOは自団体へ情報共有
- 負傷者の救助状況のとりまとめ
- 負傷者の搬送状況の進捗管理
- 現着した部隊の配置・役割調整
- 市の避難実施要領の作成支援
- 避難経路の検討と安全確保対応

災害ネット閲覧方法

■災害ネットとは

災害ネットとは、BIPROGY(株)が運用するクロノロジーシステムです。クロノロジー（以下、クロノロ）とは、過去の出来事を時間順に並べた表であり、各所属や各班が「誰が発信し」「誰が受け」「どのような内容であったか」などの情報を記録していくものです。記録した情報は、班内で共有するほか、他班にも必要な情報を提供し、共有します。

（※現在、本システムはトラアルで運用中。）

■クロノロ閲覧方法

①「災害ネット」へアクセス (<https://saigai-svc.net/cwb86/cwb0010/>)



②閲覧用アカウントでログイン (ID : tokushima100 / PW : tokushima100)



③赤タブの「ここからインシデントを選択」をクリック



④閲覧したいインシデントの「ククロノロ」をクリック（青タブ）



⑤画面上部にある「全件表示」をクリック



⑥入力されたすべての情報を閲覧できる

